

「2259」の謎

人の幸せと不幸は隣り合わせである。だから、ややもすると、自分の席を感じがいする人もいる。

先日帰りの電車の中での話で、ふと彼の口からもれた言葉。「もう3ヵ月になります」

「2人目？」

彼は親指をつき立てて、「これがあるから仕方がない」

「あ、そう。〇〇君は前は別に住んでいたんじゃない？」

「そうです」

「親が面倒見てくれるんだろう」

「……………今は別に住んでいます。××町の映画館の後の方です」

「あれ、いつ引っ越したの」

「正月からです」

「どうしたの」

「これがあるんで仕方がないんです」

彼は又もや親ゆびをつき出してみせる。私は一瞬何のこともやら理解できないで彼の顔を見つめる。「五月の初めに出て来たんです。毎日のように止せと言ったのですが、一向にその気がないんで仕方ないでしょう」

「……………苦勞しているなあ」

「結局、親の方ともゴタゴタになるし、ケンカしてみたところで3対1……………」(彼は一人で家を出たのであった)

世の中には、これとこれではなければいけないという組み合わせがあるものだ。例えば、お盆の送り火や迎え火には、農家ばかりではないと思うが、わらか麦わらをたく。これがプレイボーイとか何かの週刊誌を燃やして、メラメラとした炎の中にヌード写真でも出て来たら、どんな現代的な仏様も、さぞ驚きの余り、「娑婆はいいなあー」なんてうらやむだろうか。

ボルトにナット、くぎにゲンノウ、ナイフにフォーク、刺身にパセリ、和室に障子、……………数えあげればキリがない。しかし、これらの場合は、その民族、時代、文化、社会等々の制約の中で、その役割・分担が明確かつ固定的で組み合わせが常に安定している。

一般に世の中の組み合わせ(組織)は、一見大変当り前のように考え作られている。県の組織、国の組織、会社の組織等々。目を外界に向ければ、一定のリズムの車の流れ、自然界の食物連鎖。そして、内に目を向ければ私達家族。

唯、ここでジックリ考えてみると、ちょっと異質で「取扱注意」の組織がある。家族——中でも夫婦の問題である。平和な時は強い絆で結ばれているように誤解し、不透明な危機の時期は、冷戦のように心の中に鉄のカーテンをおろす。不確実性の80年代は、常に不信と不安の極を往來し、ついには、絶対的權威の宗教の中に安住の地を見い出すか、科学万能の時代にふさわしく、無神論の中で苦しみ自己解

体していくか、これこそまさにお先真暗。ああ神様。……………なんて、思考と空想のトイレの中で、神(紙)に見離されて途方に暮れて、いやこれは少し落ちすぎた。

Part 1 (二昔前のパターン)

「お父様。お母様。本当に長い間お世話になりました。私は、今日限りでこの家を出ていかせて頂きます」

「どうしても出て行くのか」

「はい……………」

「一郎はなにをしてるんだ、全く」

「子供達は私が連れて参ります。では、お身体に気を付けて」

Part 2 (一昔前のパターン)

「お前、昔のことはキレイにケリをつけた。〇〇との間にだってお前が考えているようなことは何もなかったんだ。子供がかわいそうだから帰って来てくれ。頼む。頼むよ花子」

「私は、帰る意志はありません。あんたの、その言葉だってもう何度も聞きました。今度は大丈夫だろうと思って帰れば、いつだって同じじゃありませんか」

「今度の今度は本当に大丈夫だ。頼む。(男泣きに泣く)」

「おい、花子、二郎君もああいっているから、もう一度だけやり直したらどうだ」

「あんた！今度1回限りですよ！」

「おれが悪かった。済まなかった」(かくて目出たし)

Part 3 (現在のパターン)

「…で、奥さんのお名前は、何とおっしゃるんですか」

「今日 若子、35才です」

「どういう事情でいつ頃、奥さんは蒸発なされたのですか。旦那様である貴方の方にも責任のようなものがありますか。……………」(途中略)

「今年の春頃から近所のスーパーへパートで勤め始めて間もなく、そこの店員と出来てしまったようなんです……………」(途中略)

「では、今日 年夫さん、子供達も一緒に、テレビを通じて、お母様に向かって呼びかけてください」

昭和54年、1979年。本県における離婚届出件数2259件。離婚一步手前件数限りなく不透明。この数は、統計的解釈にも少くとも二通りの見方がある。一つ、家庭の崩壊の指標とみるもの。一つ、女性の自由・主体性の確保の指標とするもの。

結論一「隣の芝生は青い」「他人の妻は美人にみえる」気をつけよう。気をつけよう。あすは我身の生地獄。

結論の結論。

“It is no use crying over spilt milk.”

(持戸 若齡世)

【新着資料案内】

この資料は、昭和55年8月中に行政資料室に到着した主なものです。ご利用下さい。
行政資料室 付属庁舎4階 TEL 0292-21-8111(内線426)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央官公庁関係		茨城の特産農作物	農産園芸家
昭和54年 消費者物価指数年報	総 理 府	茨 城 の 花 き	"
昭和55年版 統計情報総索引 増補	"	果樹生産流通等基本調査結果	"
昭和53年 事業所統計調査年報 第4巻	"	昭和55年 茨城の果樹	"
昭和54年 労働力調査年報	"	昭和55年 茨城のうまい米づくり	"
社会生活統計指標(昭和54年度限定版)	"	葉たばこ輪作体系確立調査事業実績	"
その1 個別指標値	"	明日をめざす普及活動(第3集)	教育普及課
その2 標準得点	"	第39回 茨城県農業振興協議会資料	"
昭和55年 地域経済要覧	経済企画庁	飛 翔	"
昭和53年分 法人企業の実態	国 税 庁	茨城における養豚経営の実態と改善方向(Ⅲ)	"
昭和53年度 国税庁統計年報書	"	堆きゅう肥等広域流通システムのあり方	"
民間給与実態調査三十年のあゆみ	"	茨城県第2次林業構造改善事業促進対策関係通達集	林 政 課
昭和53年度 社会教育調査報告書	文 部 省	茨城県県有林関係例規集	林 業 課
昭和53年度 社会医療診療行為別調査報告	厚 生 省	知事許可漁業許可船名簿(茨城海区)	漁 政 課
昭和52年 全国食中毒事件録	"	知事許可漁業許可等の取扱方針	"
昭和53年 農家生計費統計	農 林 水 産 省	茨 城 の 水 産	"
昭和53年 農家の形態別にみた農家経済	"	本県生鮮食料品流通の現況	食 品 流 通 課
昭和53年 青果物卸売市場統計年報	関 東 農 政 局	地域食品認証事業者名簿	"
農 林 漁 業 の す が た	"	事業別経理コード表	監 理 課
昭和55年 鉱工業生産動向1月~3月期	通 商 産 業 省	茨城県屋外広告物例規集	都 市 計 画 課
昭和55年 全国機械工場名簿	"	昭和54年度 茨城の下水道	下 水 道 課
通産統計史第1巻 総論 -その1・2-	通 産 統 計 協 会	市 町 村 社 会 福 祉 指 標	県 西 地 方 総 合 事 務 所
茨城県関係		昭和54年度 県政を学ぶ婦人のつどい報告	教 育 庁 社 会 教 育 課
公 害 防 止 協 定 集	公 害 対 策 課	昭和54年度 茨城県の児童生徒の体力・運動能力調査並びに「県体力章」合格等一覧	教 育 庁 体 育 課
公害防止管理者等許可工場一覧	"	昭和54年度 長欠対策の手引	教 育 庁 指 導 課
公害苦情処理事例集(2)	"	複式学級における学習指導の手引	"
身体障害者福祉関係例規集福祉手当関係例規集(第3集)	障 害 福 祉 課	茨 城 の 文 化 財 第 18 集	教 育 庁 文 化 課
昭和54年度資源とエネルギーを大切にす運動	消 費 生 活 課	昭和54年版 県地方労働委員会年報	地 方 労 働 委 員 会 事 務 局
昭和54年度 市町村交通安全対策現況調	交 通 安 全 対 策 課	審 査 ・ 調 整 事 務 処 理 要 領	"
幼児交通安全クラブ集合訓練(事例集)	"	県内市町村関係	
" 一指導の手びき一	"	住居表示新旧・旧新対照表	土 浦 市
昭和55年度 事業計画書	保 険 課	昭和54年度版 統計かさま	笠 間 市
昭和54年度 県産品愛用促進運動関連事業	商 工 企 画 課	統 計 と う か い	東 海 村
貸金業関係法令集	"	都道府県関係	
昭和55年度 労政行政執行方針	労 政 課	昭和53年 岩手県統計年鑑	岩手県統計調査課
転 作 へ の 誘 導	農 政 企 画 課		

【新着資料案内】

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
第6次漁業センサス結果報告書	宮城県統計課	昭和54年版 長野県政要覧	長野県情報統計課
昭和52年度 県民所得統計	山形県統計課	昭和53年度 長野県の県民所得	〃
昭和52年度 市町村民所得統計表	群馬県統計課	昭和54年 県内の賃金・労働時間及び雇用の動き	〃
第26回 群馬県統計年鑑	〃	昭和54年 長野県の商業	〃
昭和52年度 埼玉の市町村民所得	埼玉県統計課	昭和50年 愛知の産業連関表	愛知県統計課
昭和53年 埼玉県の人口動態概況	〃	昭和50年 愛知県産業連関表特別調査結果報告書	〃
昭和54年度 学校基本調査結果報告書	千葉県統計課	昭和54年 織物と陶磁器・機械の動き	京都府統計課
昭和54年 千葉県鉱工業指数年報	〃	昭和53年度 京都府民所得	〃
昭和53年度 千葉県個人企業経済調査結果報告	〃	昭和53年 工業統計調査にみる工業の集積地区	〃
昭和54年度 東京都社会指標の研究開発	東京都統計部	統計 おおさか '80	大阪府統計課
昭和54年度 東京都社会指標 個別指標一	〃	昭和53年度 市民所得統計年報	〃
東京都 就業者数の予測	〃	昭和54年 大阪府家計調査年報	〃
1980年 資料もくろく	〃	昭和54年 商業統計調査結果報告書	奈良県調査課
'79 都 政	〃	昭和53年 和歌山県鉱工業生産指数	和歌山県統計課
1979年 東京の産業	〃	昭和55年 鳥取県勢要覧	鳥取県統計課
昭和53年 第6次漁業センサス結果報告書	神奈川県統計管理課	昭和55年 広島県勢要覧	広島県統計課
昭和54年 新潟県の人口移動	新潟県統計課	昭和54年 商業統計調査結果報告	〃
昭和54年 新潟県の雇用・賃金の動き	〃	1980 県勢一覧とくしま	徳島県統計課
昭和54年 にいがた県の商業	〃	昭和50年 長崎県産業連関表経済の構造	長崎県統計課
昭和53年 新潟県の県民所得	〃	宮崎県の漁業	宮崎県統計課
昭和54年度 教育統計調査結果報告	山梨県統計課	第7次 沖縄農林水産統計年報	沖縄県統計課
昭和54年 商業統計調査結果報告	〃		



10月18日は「統計の日」

来る10月18日(土)は「統計の日」です。この統計の日は、国民の皆さんに統計の重要性についてご理解いただき、いろいろな統計調査について、より一層の協力をお願いするため、昭和48年7月3日の閣議で決められたものです。今年には10月1日を調査日として、5年に1度の国勢調査(大規模調査)が行われており、例年にも増してその必要性が要請されています。

「統計の日」は、今日の生産統計の起源となった「府県物産表」に関する太政官布告が公布された明治30年9月24日(太陰暦)を太陽暦に直した日、10月18日を記念したものです。

この日を中心として、国、地方公共団体、その他関係団体では、緊密な協力の下に、統計知識の普及のための諸行事を実施しています。特に茨城県では今年、全国統計大会が開催されます。この大会は、全国の統計関係者が一堂に会し、統計関係者間の連携を深めるとともに、統計のより一層の発展を期する目的で、毎年1回、財団法人全国統計協会連合会が各省庁・関係団体などの後援・支援を受けて開催するもので、県でも開催県として、現在その準備を進めています。期日は、国勢調査との関連で若干遅れ、12月2日(火)、会場は水戸市・県民文化センターです。

(統計課・統計資料)